



2月
5日

市教育研究所の発表大会



子どもの「夢と生きる力」をはぐくむ
 市教育研究所・教育委員会主催で、教育研究発表大会が市民ホールで開催されました。教育研究発表では、指導力向上に関する研究の「教育相談」と「小学校外国語教育」が発表されたほか、全国学力・学習状況調査の考察や中学生海外派遣研修報告が発表されました。後半の教育講演では、小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトについて講演が行われました。

2月
2日

守山矢島かぶら料理教室



近江の伝統野菜 寿司やデザート 美味しいレシピ
 近江の伝統野菜に認定されている守山矢島かぶらを、美味しい料理で普及しようとして、玉津学区まごこ地産地消プロジェクトが主催しました。この日のメニューはかぶら寿司やかぶらのミルクスープなど7品目。参加者は「矢島かぶらはお漬物しか知らなくて興味があり参加しました。葉っぱまで利用できて捨てるところがなく、こんなにいろいろな料理になると知り感動しました」と話していました。

2月
11日

てんでんこフォーラム&メモリアルコンサート



被災地支援のフォーラムとコンサート
 市民活動団体のこれから行動隊主催の東日本大震災復興祈念イベントがライズヴル都賀山で開催され約160人が参加しました。一部のフォーラムでは3人の福島県出身の講師が震災を振り返り被災した現地の状況などを語りました。2部では震災の記憶を風化させないように毎月11日に行われ、今回で100回目となるメモリアルコンサートが開催されました。

2月
8日

第17回川づくりフォーラム



守山の歴史と野洲川の生い立ち その関わりを学ぶ
 市立図書館で第17回川づくりフォーラム認定NPO法人びわこ豊稜の郷主催が開催され、約70人が参加しました。守山の歴史・文化を育んだ野洲川、その光と陰と題し、市立埋蔵文化財センターの岩崎茂所長による講演が行われ、野洲川の誕生から現在までの人との関わりなどについて学びました。また、野洲川改修時に発見された服部遺跡についても説明されました。



守山市の人口

令和2年1月31日現在
 (前月比)

人口	83,786	(+ 40)
男	41,330	(+ 24)
女	42,456	(+ 16)
世帯数	32,747	(+ 54)



双眼鏡

3月3日といえは「ひなまつり」。しかし我が子は男兄弟なので憧れはあるが縁はない。そのせいかどうか、偶然見た耳鼻科のポスターの「耳の日」の方に「へえ」と関心が向いた▼耳の日は33(みみ)で単なる語呂合わせと思うかもしれないが実は深い意味があった▼電話を發明したグラハム・ベルの誕生日。3つあ教育に熱心だったグラハム・ベルの所に視覚と聴覚の障害を持った子どもの相談があり、家庭教師がつくことになった。ヘレンケラーとサリバン先生との出会いの物語である。この2人の出会いも3月3日だった▼「耳の日」が3月3日になったのは、その日が大切な日であり、多くの人に「聞こえ」について考えてほしいという願いをこめたからだと思う。今年の3月3日は「聞こえ」について考えながら過ごしたい。(9)